

かわさき強靱化計画 令和4年度評価結果について

1 評価の実施方法（各年度の進捗管理）

- 川崎市総合計画との整合を図りながら評価を実施し、強靱化事業一覧や業績指標についても、計画期間内において適宜見直しを行うこととする。

（1）重点事業

年度当初に当該年度に実施する具体的な取組を計画し、その翌年度に評価を実施し、計画の改善・見直しを図りながら実施する。

（2）重点事業以外の事業

川崎市総合計画 実施計画の関連する事務事業評価シートを活用することで、原則として所管課での毎年度の評価入力を省略し、効率的・効果的な進捗管理及び評価を実施する。

（3）評価方法の一部見直しについて【今年度新規項目】

令和3年度の評価結果について、防災対策検討委員会（防災会議の部会として学識者により構成）から次の意見をいただいた。

- ①外的要因が原因となって目標を下回った事業（評価4）について、代替的手段等の取組を行った場合に積極的に評価する手法が必要。
- ②目標の達成度のみを評価の基準とすると、設定する目標値が低くなっていく。どれだけ難しい目標に取り組み、進捗したのかを正しく評価することが重要。

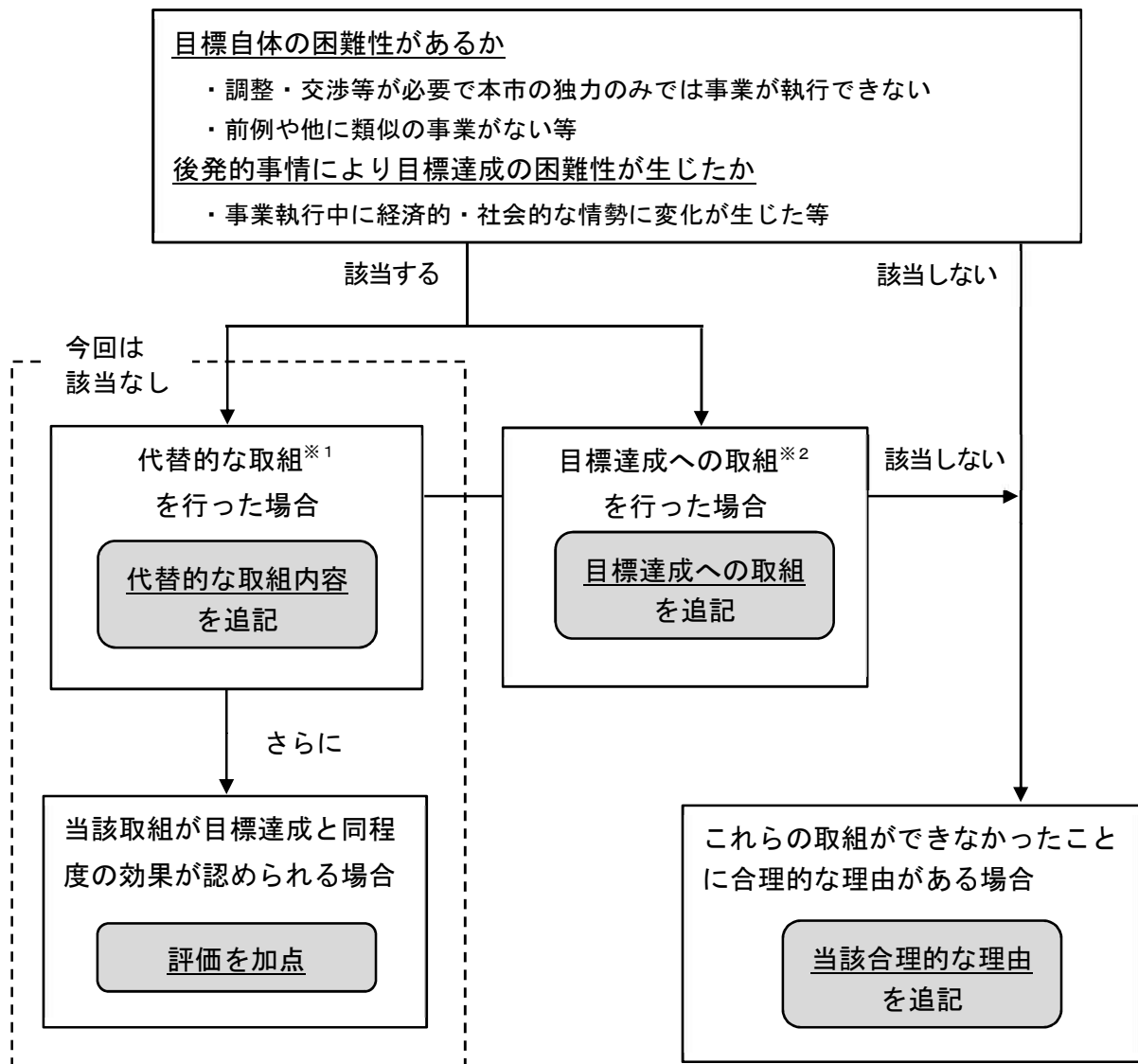
これらを踏まえ、目標未達成の事業について、目標自体の困難性、後発的な事情による目標達成の困難性、代替的な取組や目標達成への取組について調査・確認し、「進捗結果一覧」に各取組を追記することで評価を補うこととする。

さらに、代替的な取組については、本来の取組による強靱化への効果と同程度と認められる場合は、評価への加点（3：「ほぼ目標どおり」での評価）を行うこととする。

これらにより、できるだけ目標の困難性を踏まえた評価の実施を目指すこととする。

また、目標達成への取組ができなかったことについて合理的な理由がある場合にも、この見直しとのバランスから、その理由を追記することとする。

【目標未達成の事業に関する具体的な評価フロー】



※1 「代替的な取組」とは、目標の取組に代えて行われる取組で、例えば、目標である研修会の実施に代えて動画を作成して配信するなど。

※2 「目標達成への取組」とは、目標の達成を目指す中で行われる取組で、例えば、目標である工事の完成に向けて手順を変更するなど。なお、この場合には、目標未達成の事実は変わらないため、評価への加点は行わない。

このフロー図は、今後のかわさき強靱化計画の評価の実施状況により、変更する可能性がある。

2 令和4年度の評価結果（概要）

（1）全体の評価結果について

| 評価区分 | | 事業数 | | | 構成比 |
|------|--------------|-------------|----------------|-------------|-------|
| | | 重点事業 (A) | 重点以外 の事業(B) | 合計 (A+B) | |
| 1 | 目標を大きく上回って達成 | 0 | 0 | 0 | 0% |
| 2 | 目標を上回って達成 | 0 | 0 | 0 | 0% |
| 3 | ほぼ目標どおり | 52 | 96 | 148 | 97.4% |
| 4 | 目標を下回った | 2 | 2 | 4 | 2.6% |
| 5 | 目標を大きく下回った | 0 | 0 | 0 | 0% |
| 合計 | | 54 | 98 | 152 | 100% |

※評価区分は、総合計画における事務事業評価と同一の基準を使用

（2）評価4（目標を下回った）となった事業 計4事業

ア 重点事業 2事業

| NO | 事業名 | 評価理由等 |
|----|----------------|---|
| 46 | 臨港道路東扇島水江町線の整備 | 【評価の理由】 目標とする令和5年度の臨港道路東扇島水江町線の完成について、国の事業評価監視委員会において、地盤改良の必要が生じた等の理由から事業計画が見直され、完成が令和9年度に変更されたため。 ※ 臨港道路東扇島水江町線は国の事業であるが、その一部（東扇島アプローチ部の一部）について本市が受託している。 |
| | | 【目標達成への取組】 国の事業評価監視委員会において、市長意見として、徹底した工期短縮や定期的な情報共有等を要請し、当該情報共有について実施することとした。 |
| 51 | ごみ焼却施設の耐震対策 | 【評価理由】 目標とする令和4年度までの橋処理センターの建替工事に伴う耐震化について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、半導体部品の納品が遅滞したことから、工期延伸となったため。 |
| | | 【目標達成への取組ができなかった合理的理由】 施設の機器に必要な半導体については、特許の関係から他の製品では代替できないものであり、仕様変更などによる対応ができなかったため。 |

イ 重点事業以外の事業 2事業

| NO | 事業名 | 評価理由等 |
|-----|-----------------------|---|
| 1 2 | 消防団員の確保・充実 | <p>【評価理由】 目標とする消防団員の充足率84.2%について、78.7%となったため。</p> <p>【目標達成への取組】 新聞への折り込みチラシや市政だよりの配布、機能別団員募集説明会の開催、備えるフェスタなどの防災イベントや防災訓練でのPR活動、大学学園祭における消防団員募集広報の実施、アンケート調査などに基づく入退団要因の分析など、消防団員確保に向けた取組を行った。</p> |
| 5 5 | 災害対策活動の中枢拠点となる新本庁舎の整備 | <p>【評価理由】 目標とする令和4年度までの新本庁舎の竣工について、新型コロナウイルス感染拡大に起因し、中国各地で実施されたロックダウンの影響に伴うカーテンウォール工事の遅れにより、令和5年度に変更したため。</p> <p>【目標達成への取組】 工期の検討を行い、新本庁舎新築工事の外装工事を担当する会社の企業努力を得て、カーテンウォールを分割して納入し、順次施工するなどによる工程の見直しとともに、全請負業者11社との調整を経て、事業計画の遅れを最小限とし、令和5年6月に竣工した。</p> |